

栃木県の森

栃木県の森は、県を代表する奥日光の名山「男体山」(標高 2,484m)と、その麓に広がる「中禅寺湖」(周囲 23.6km)を中心として、県の木「トチノキ」や、日光の社寺に茂る杉の木などを植栽して、豊かな美しい自然に恵まれた県の姿を現しています。



県の木 トチノキ(トチノキ科)

古くから郷土の木として親しまれています。5月頃、白やピンクの優雅な花を咲かせます。実は粉末にして餅や団子の材料になります。



男体山と中禅寺湖の縮景

山岳信仰の聖地である男体山は、二荒山、黒髪山とも呼ばれ、美しい円錐体をした火山です。噴火により川が堰き止められ、中禅寺湖ができました。栃木県を代表する自然風景です。

日光杉並木 (スギ科)

日光街道・例幣使街道・会津西街道の総延長 37km にわたり、約 12,500 本の巨木が連なる世界一長い並木道。唯一、国の特別史跡と特別天然記念物の二重指定を受けている文化遺産です。